

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年10月31日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【水処理設備シールド中央制御室における監視操作卓(OPS-6)の障害について】 水処理設備シールド中央制御室の定期設備点検を行ったところ、水処理設備、多核種除去装置等の監視操作卓(OPS-6)において入力信号の障害を確認。 障害の原因を調査中。 通常時の監視、操作は、免震棟水処理監視室の監視操作卓にて行われており、運転に支障はない。	GⅢ
2	【電子式線量計およびガラスバッジの一時不携帯について】 作業関係者が業務後に構内免震棟で着替えた際に電子式線量計およびガラスバッジを置き忘れ、不携帯のまま、入退域管理棟まで巡回バスにて移動。 不携帯時の線量評価を実施。	GⅢ